京都寺町今出川付近地図

ようやく『一番丸船長一庭啓二の生涯』を刊行する運びとなった。

この一庭は、烏丸今出川上ル立本寺前丁で生まれたことから、この本では、江戸時代後半の地図から、一庭の生まれ育ったその立地を検討してみた。そして国際日本文化研究センターの地図の部分を掲載することができた。ここでは、いま手近にある明治大正昭和の地図から、この一庭が生まれた京都烏丸今出川付近を切り取って、その変遷をかがってみることにしたい。

この地図というのは、わたしが京都ノートルダム女子大学在職中に、ゼミや授業で活用しようと、研究費で購入したものである。現物は、図書館で整理して図書館に入れてもらったから、いま手元にあるのは複写物である。

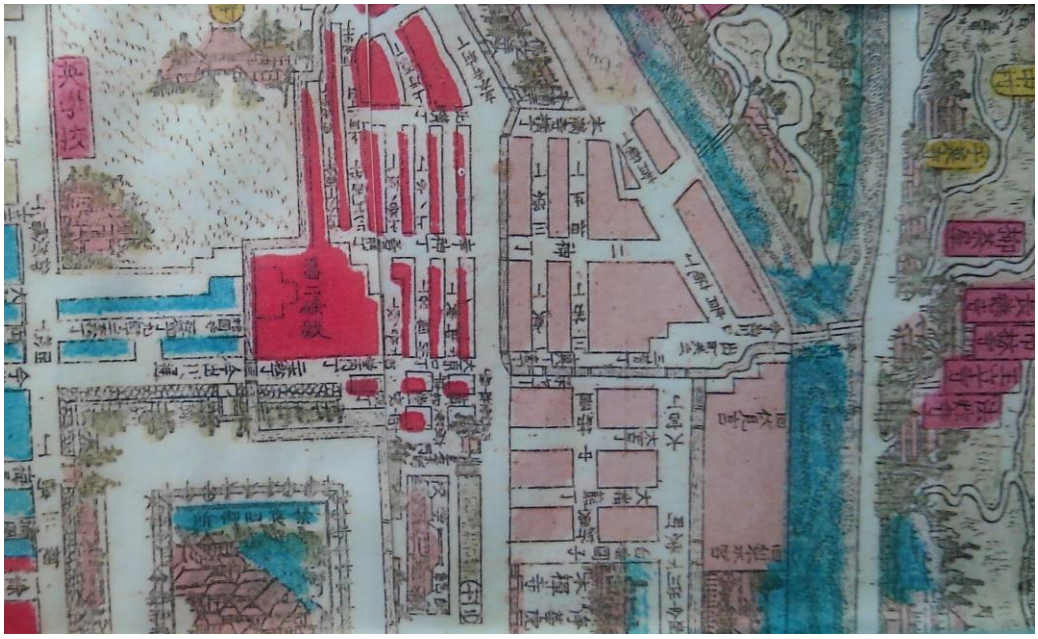
一庭啓二が生まれた烏丸今出川上ル立本寺前町は、御所の東北にあたり、御所から歩いてすぐ近い場所であった。父親は小川茂兵衛、質商加賀屋を営んでいた。店は御所のすぐそばにあったことから、立地もよく、土地がら、主に公家を相手に商売をしていた。

一庭の姉品（しな）は、一庭の六歳年長で、大津の百艘船仲間船屋太郎兵衛に嫁していた。しかしながら、品には子どもがなく、一庭を養子として迎えることとしたのであった。品が嫁した太郎兵衛の船屋稼業は、幕末期を迎え、百艘船仲間の特権も失い、衰退の一途にあった。一庭は家業の立て直しを図るため、琵琶湖に蒸気船を走らせることを考える。おりしも明治初年、目的を同じくする大聖寺藩士石川嶂と出会い、二人はその思いの方向性が同じであることから、蒸気船を建造して琵琶湖に浮かべることで一致する。そして大聖寺藩が資金を用立てて大津に御用場を建設し、一庭らがその運営にあたることに合意する。そしてともに長崎に向かって蒸気機関一式を入手し、用場で蒸気船を完成させたのである。蒸気船は明治２年３月に進水、一番丸と名付けられた。一庭はみずから、この一番丸の船長となり、また大聖寺藩の委託を受けて、堀江八右衛門らとともに火船商社を運営したのであった。

詳細は拙著をご参照願うとして、ここでは、明治大正昭和の地図のうちから、この烏丸今出川付近を切り取って探ってみた。結果的には、烏丸今出川上ル立本寺前町付近については、江戸時代の地図の方が詳しかったのだったが、この地図の御所附近には、公家邸、同志社大学、工芸学校、美術学校なども書かれてあって、その変遷・移転の状況も知ることができ、興味深かった。

地図は、先にも触れたように、京都ノートルダム女子大学図書館の所蔵である。珍しい地図ではなく、また系統的な収集でもないのだが、結果的には、同館所蔵地図の一部を紹介できることとなり、それはそれでよかったのではないかと思っている。

2021年5月6日

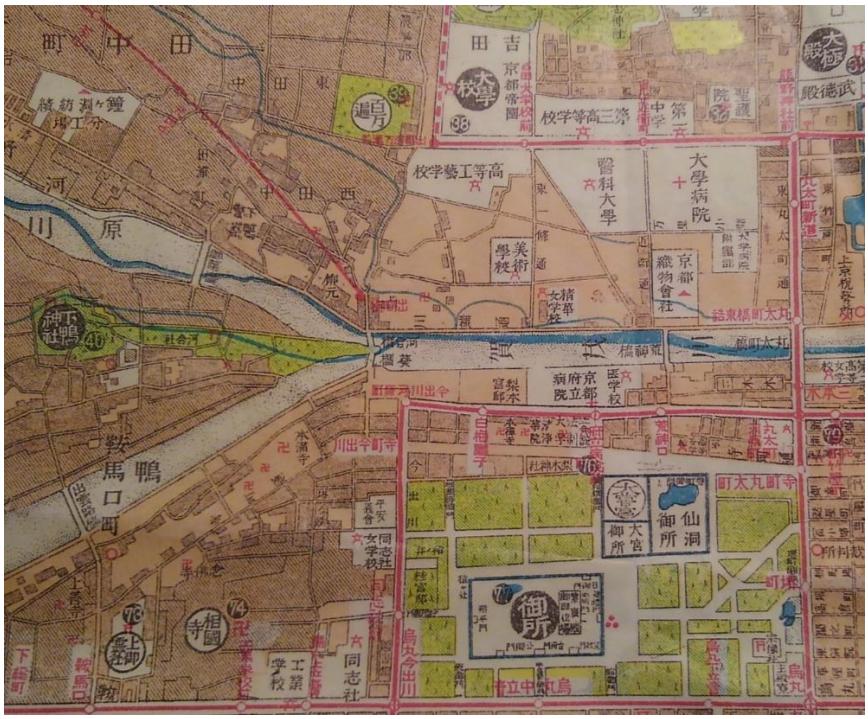


『京都府区組分細図』橋本澄月編輯 風月庄左衛門 明治 12 年 12 月 京都ノートルダム女子大学図書館所蔵 291.62/Kyo（部分）。今出川通をはさんで北に英学校、寺町今出川の西に大原口町と見える。

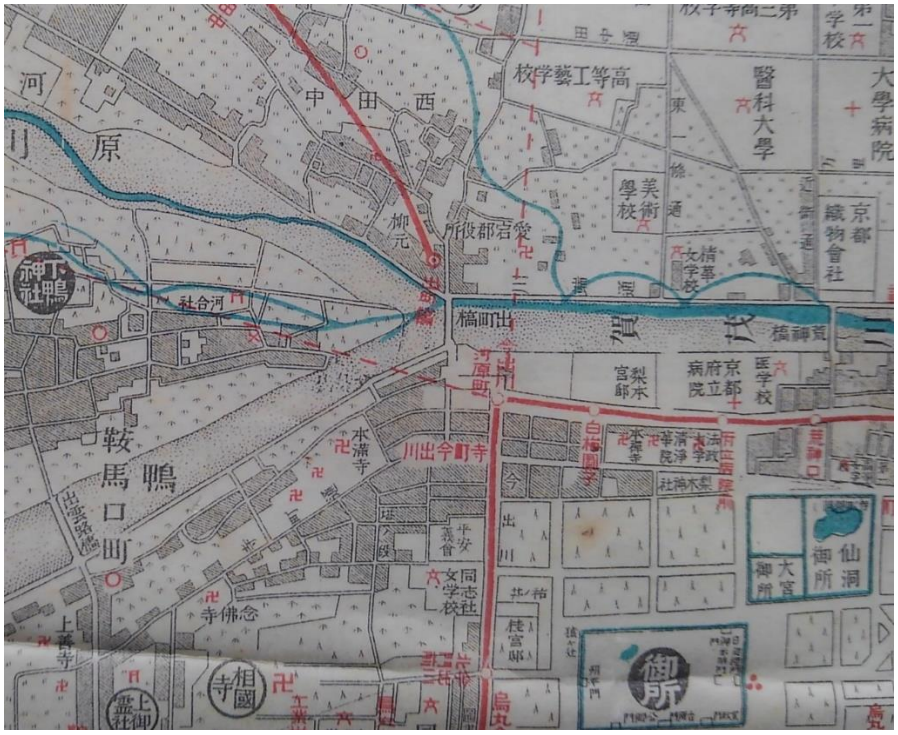
『京都近傍圖 東北部』陸地測量部編 大正 4 年 10 月のものか。京都帝国大学・第三高等学校・第一中学校が南にならんで載っている。一中が吉田近衛町に移転したのは明治 30 年 9 月のことである。

『最近實測京都市新地圖』田中治平 大正 11 年 10 月 京都ノートルダム女子大学蔵 291.62/Tan 。一庭の生家寺町今出川から北に、本満寺・仏陀寺・阿弥陀寺と寺が続く。立命館大学は法政大学として出る。

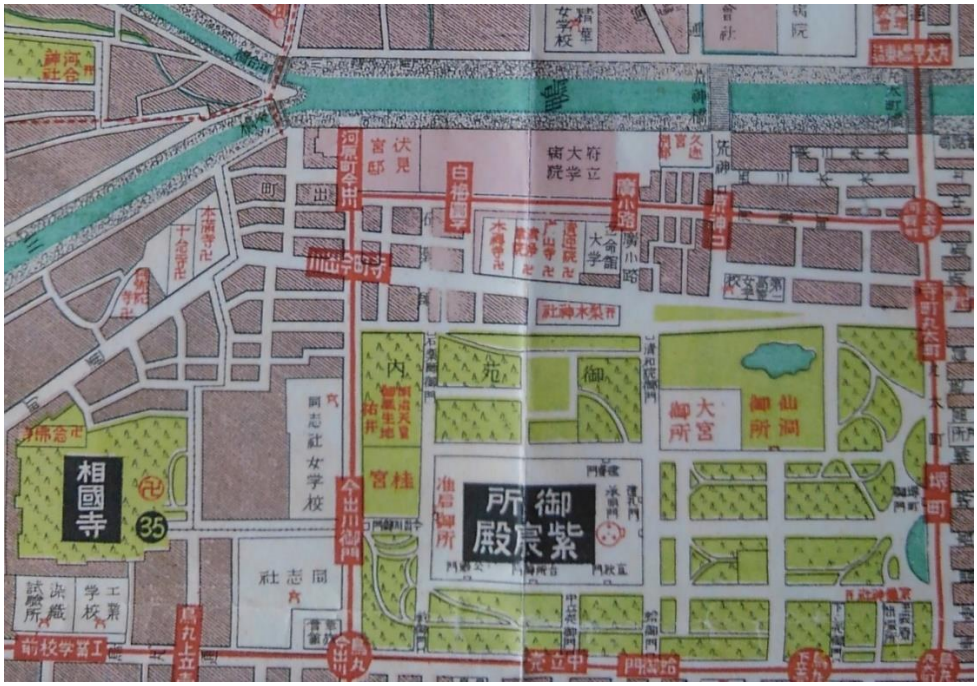
『大京都市街地圖』日下伊兵衛著 和楽路屋 昭和 2 年 5 月 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Kus。地図には、その時代ごとの学校名が記されている。それは現在の学校の沿革を調べるとわかるのだが、すぐにはわからない施設名などもある。調べていくとそれも有意義なことであろう。



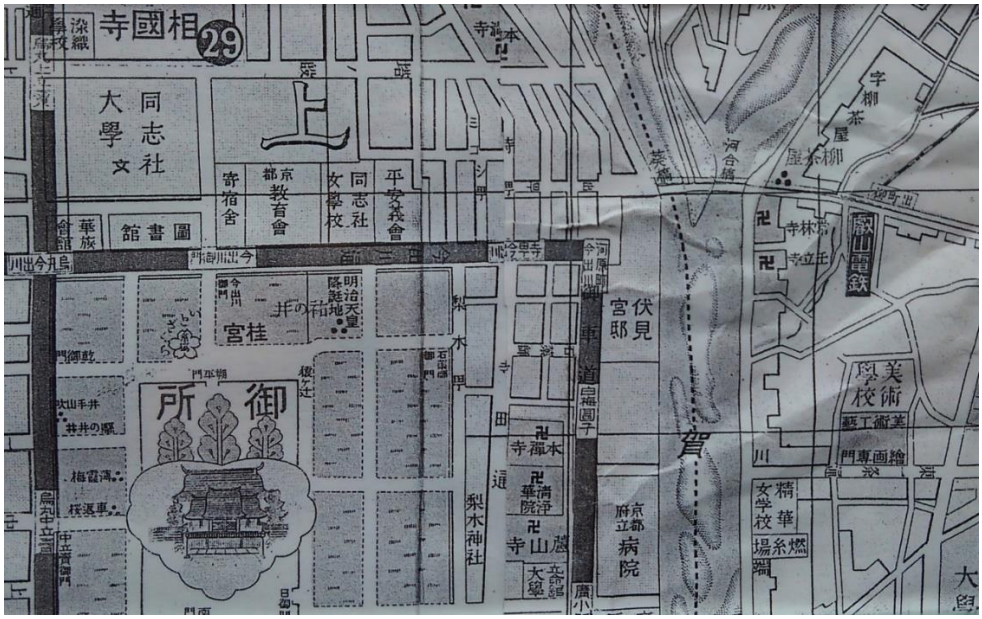
『最近實測京都市街全圖』(『京都名所遊覧案内』附録、河合泰三編輯 京都名所遊覽案内社 昭和 3 年 6 月)



『最近實測京都市街全圖』大黒屋本店 大正 14 年 京都ノートルダム女子大学蔵 291.62/Sai。今の京都大学西部行内に「高等工芸学校」がみえる。これは明治 34 年 3 月に当時の上京区吉田町で着工なった学校で、昭和 5 年 11 月に愛宕郡松ヶ崎村に移転、昭和 24 年 5 月に京都工芸繊維大学としてなった。

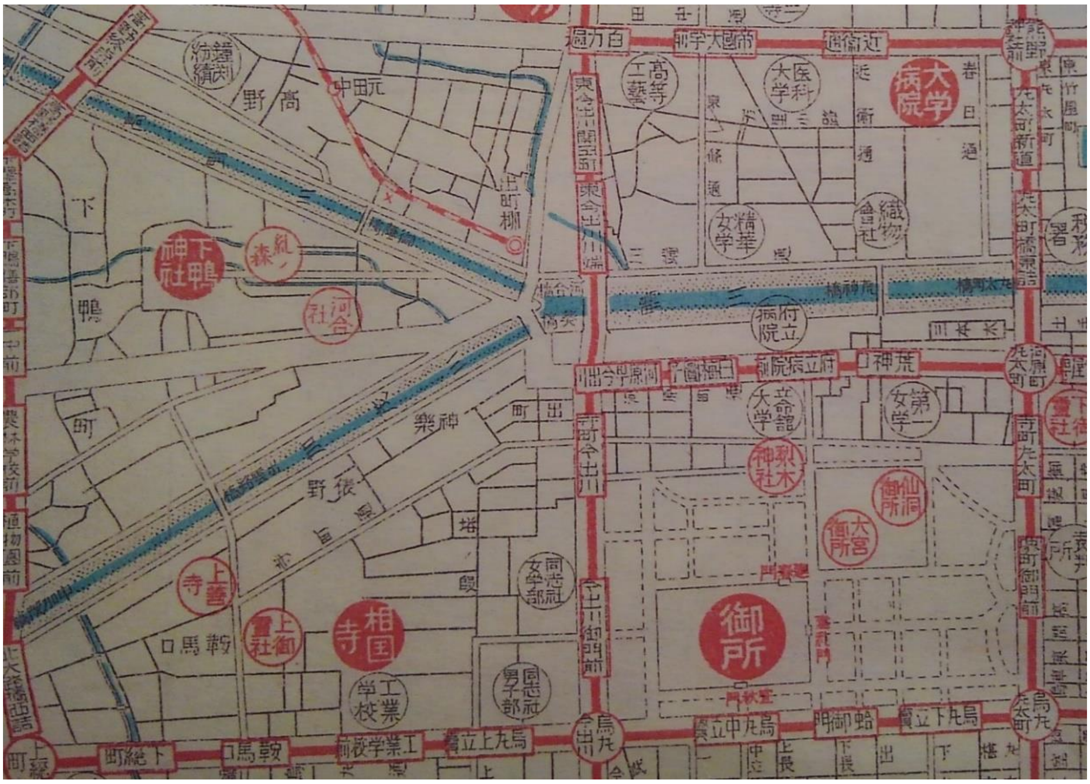


『最近實測京都市街全圖』風月堂 大正 15 年 2 月 京都ノートルダム女子大学蔵 291.62/Sai（部分)。一庭の生家は御所にほど近く、地図にも伏見宮邸・桂宮と見えるが、公家が東京に移転する前には多くの公家が住んでいた。

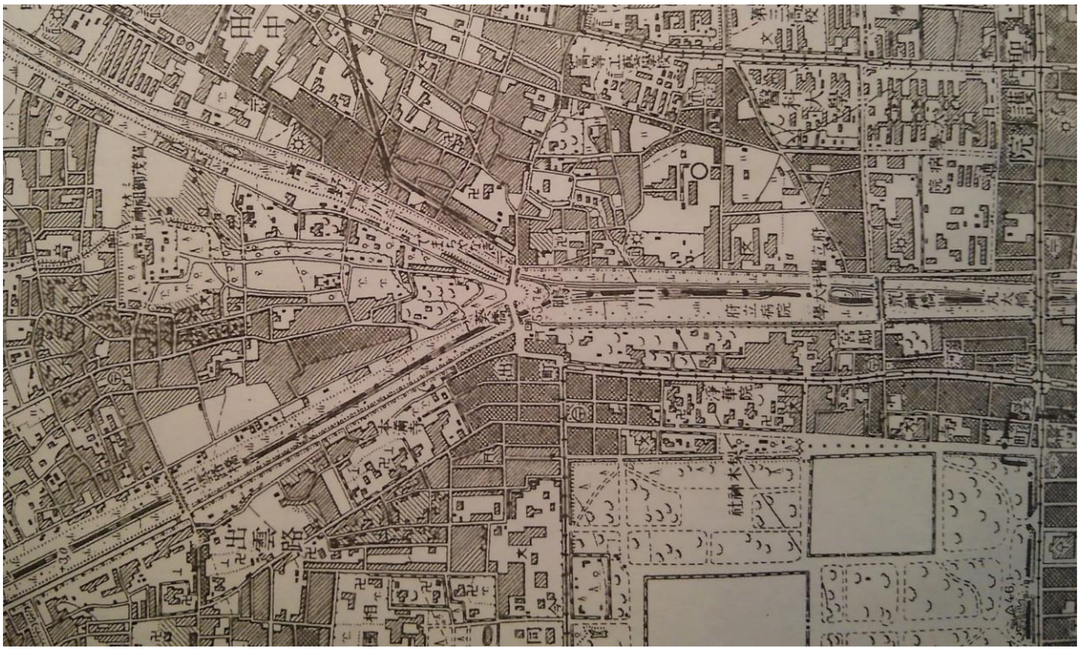


『いろは引早わかり 最新京都市街地圖 再版』大淵善吉編輯 駸々堂旅行案内部 昭和５年６月 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Sai。「今出川御門」電停前の北の今出川通りに、西から、華族会館・図書館・寄宿舎・京都教育会・同志社女学校・平安義会とある。また川端通りには、精華女学校・燃（撚）糸場・織物会社と続く。寺町通を南に、蘆山寺・立命館大学・第一高等女学校も見える。

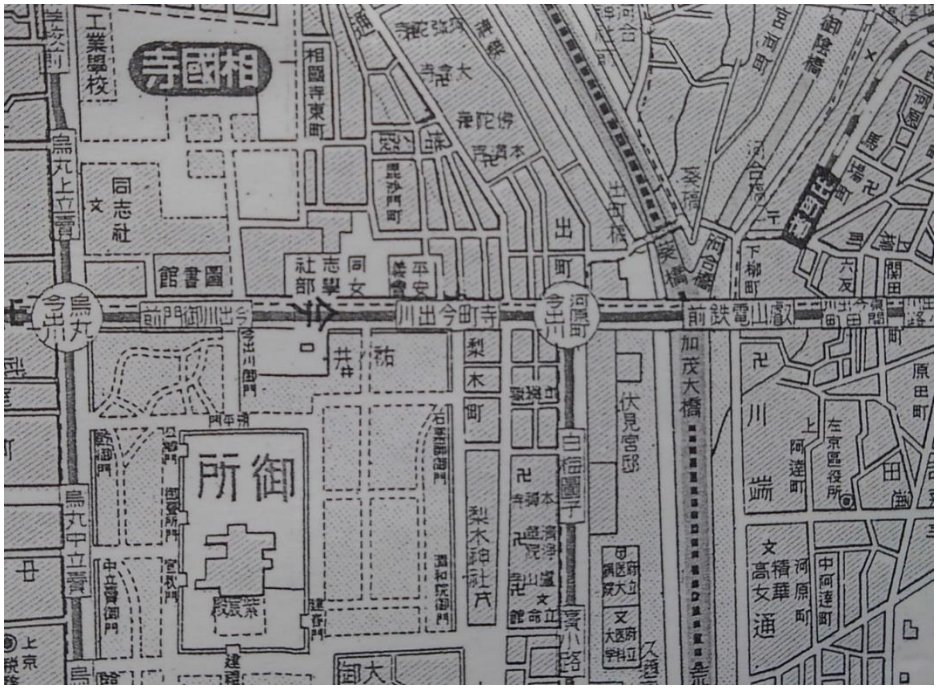
『京都市街地圖』今井重之助 昭和 9 年 4 月 京都ノートルダム女子大学図書館所蔵 291.62/Kyo（部分）。右下の緑が御所、市電電停は「今出川御門跡」か。その隅に「同志社」。図の上方（東方）に帝国大学。



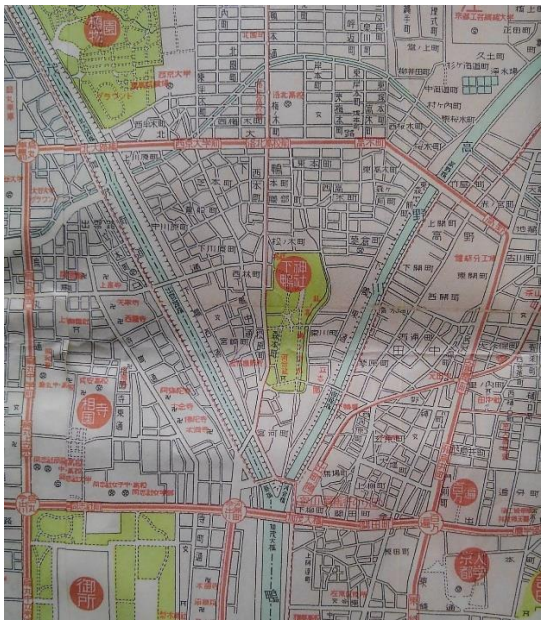
『京都市最新地圖』(『京と名所地圖』) 伏見屋本店 昭和 11 年 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Kyo。近辺の各種学校の名称が時代とともに変わっていくのを確認すると楽しい。



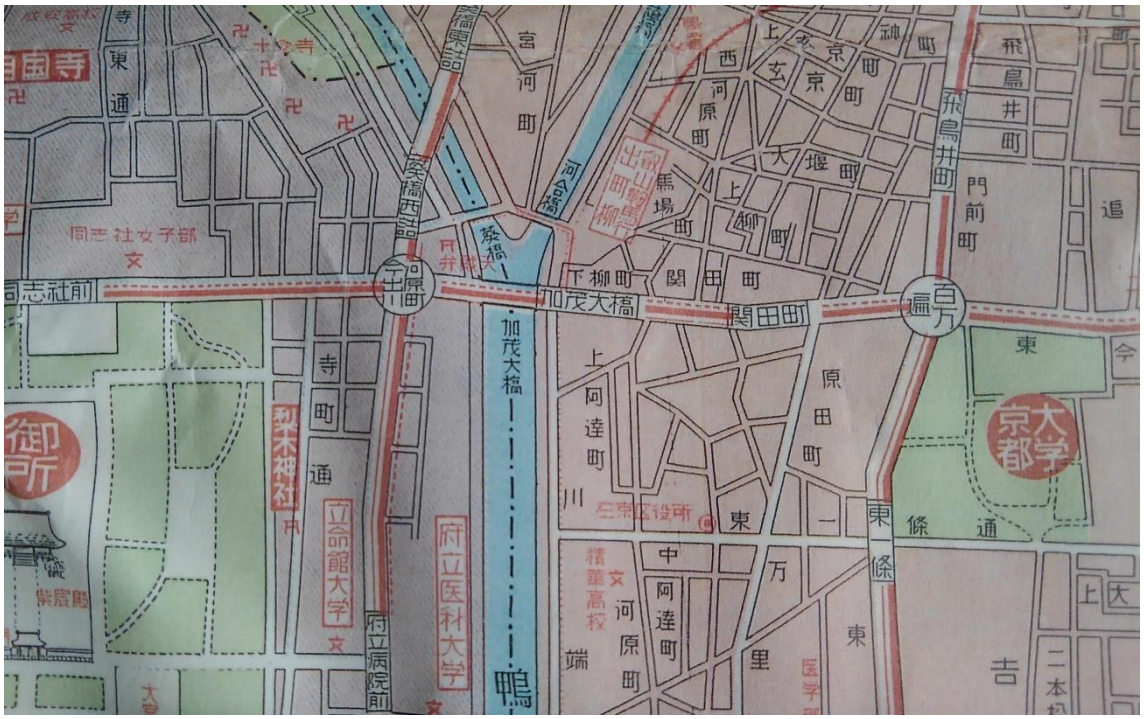
『京都市実測図 昭和 13 年』関西地図センター 昭和 13 年１０月 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Kyo。



『最新大京都市街地圖 いろは引き町名早見』大淵善吉製圖 駸々堂旅行案内部 1938 年 7 月 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Sai。今出川御門内の御所北門に朔平門が見えるが、大聖寺藩は慶応元（1865）年にこの御門の警固を命じられ、その輸送の運輸上の負担を軽減するため、石川嶂は琵琶湖蒸気船の建造を藩に建言したが受け入れられなかった。



『観光京都市街図』日地出版 19??年 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Kan。植物園の南東に京都府立大学前身の西京大学が見えるので、1949 年から 1959 年までの間の地図であろう。同志社商業高校の名前も見える。



『最新京都市街図』立誠社 昭和 38 年 京都ノートルダム女子大学図書館蔵 291.62/Sai。ほぼ現在に近い。